

対象校No. 723

注4

学校コード F123310106586

注3

設置年度 令和 6年度

計画の区分： 学部の設置

注1

届出

注2

大同大学 建築学部 建築学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書  
(改正前大学設置基準適用)

学校法人大同学園  
令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	総務室
職名・氏名	シュエンプイン マツイタケシ 主任部員・松井健之
電話番号	052-612-6111 (内線: 2141)
(夜間)	052-612-6085
e-mail	ditgakum@daido-it.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合: 「〇〇大学」
- 学部の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合: 「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合: 「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、  
当該番号を記載してください。

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)

4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、  
該当番号を記載してください。

# 目次

## 建築学部

＜建築学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	16
6. 附帯事項等に対する履行状況等	31
7. その他全般的事項	32

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人大同学園

## (2) 大学名

大同大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒457-8530

愛知県名古屋市滝春町10番地3

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ムトウ タケシ) 武藤 大 (令和元年8月)		
学長	(ワタナベ シンイチ) 渡邊 慎一 (令和5年4月)		
学部長	(ワタナベ シンイチ) 渡邊 慎一 (令和6年4月)		
学科長等	(ナカシマ タカミツ) 中島 貴光 (令和6年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)  
令和6年度に報告する内容 → (6)  
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。  
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和6年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
建築学部 建築学科 学士(建築学)	工学関係	4年	190人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	760人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の 学期区分について	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	備考
	春季入学	その他の学期														
A 入学定員	人 ( ) [ ]															
志願者数	( ) [ ]															
受験者数	( ) [ ]		1.02倍													
合格者数	( ) [ ]															
B 入学者数	( ) [ ]															
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、( )書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
- ・ なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」に「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。
- ・ (春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
- ・ 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- ・ なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
- ・ なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
- ・ 「(5) ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期											
1年次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	195	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
2年次			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
			( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
3年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
					( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
4年次							-	-	-	-	-	-	
							[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
							( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	195	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ [ ]内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ ( )内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、**その他の学期欄は「-」**を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	195 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{195} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<建築学部 建築学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
A グループ 言語・ 体育 実技分野	ファースト・イヤー・ 세미나	1前	1								兼4
	基礎英語セミナ	1前		1							兼3
	英語スキル1	1前	2								兼3
	中国語入門1	1前		1							兼1
	英語スキル2	1後	2								兼3
	中国語入門2	1後		1							兼1
	資格英語	2前	2								兼3
	実践英語	2後		1							兼2
	英語ライティング	3前		1							兼2
	英語プレゼンテーション	3後		1							兼2
	スポーツ実技A	1前		1							兼2
	スポーツ実技B	1後		1							兼2
	スポーツと健康の科学A	3前		1							兼1
	スポーツと健康の科学B	3後		1							兼1
	情報リテラシー概論	1前		1							兼1
	データサイエンス概論	1後		1							兼1
小計(16科目)	-		9	9	1	0	0	0	0	0	兼13
人間科学 科目群	文学A	1・2・3前		2							兼1
	文学B	1・2・3後		2							兼1
	哲学A	1・2・3前		2							兼1
	哲学B	1・2・3後		2							兼1
	人類学A	2・3前		2							兼1
	人類学B	2・3後		2							兼1
	歴史学A	1・2・3前		2							兼1
	歴史学B	1・2・3後		2							兼1
	心理学A	1・2・3前		2							兼1
	心理学B	1・2・3後		2							兼1
	教育原理	1前		2							兼1
	教育心理学	2前		2							兼1
	政治学A	1・2・3前		2							兼1
	政治学B	1・2・3後		2							兼1
	経済学A	1・2・3前		2							兼1
	経済学B	1・2・3後		2							兼1
	法学A	2・3前		2							兼1
	法学B	2・3後		2							兼1
	社会学A	1・2・3前		2							兼1
	社会学B	1・2・3後		2							兼1
	社会調査法A	2・3前		2							兼1
	社会調査法B	2・3後		2							兼1
	現代社会論A	2・3前		2							兼1
	現代社会論B	2・3後		2							兼1
	教育社会学	1後		2							兼1
	健康科学A	1・2・3前		2							兼2
	健康科学B	1・2・3後		2							兼2
	認知科学A	2・3前		2							兼1
	認知科学B	2・3後		2							兼1
	環境と防災A	2・3前		2							兼1
	環境と防災B	2・3後		2							兼1
	自然科学概論A	1・2・3前		2							兼1
自然科学概論B	1・2・3後		2							兼1	
生物学A	2・3前		2							兼1	
生物学B	2・3後		2							兼1	
地球科学A	2・3前		2							兼1	
地球科学B	2・3後		2							兼1	
課題探究集中講座	1後		2							兼1	
課題探究セミナA	2・3前		2							兼1	

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
A グループ 言語・ 体育 実技分野	ファースト・イヤー・ 세미나	1前	1									兼9
	基礎英語セミナ	1前		1								兼3
	英語スキル1	1前	2									兼12
	中国語入門1	1前		1								兼1
	英語スキル2	1後	2									兼9
	中国語入門2	1後		1								兼1
	資格英語	2前	2									兼3
	実践英語	2後		1								兼2
	英語ライティング	3前		1								兼2
	英語プレゼンテーション	3後		1								兼2
	スポーツ実技A	1前		1								兼7
	スポーツ実技B	1後		1								兼10
	スポーツと健康の科学A	3前		1								兼1
	スポーツと健康の科学B	3後		1								兼1
	情報リテラシー概論	1前		1								兼1
	データサイエンス概論	1後		1								兼1
小計(16科目)	-		9	9	1	0	0	0	0	0	0	兼33
人間科学 科目群	文学A	1・2・3前		2								兼1
	文学B	1・2・3後		2								兼1
	哲学A	1・2・3前		2								兼1
	哲学B	1・2・3後		2								兼1
	人類学A	2・3前		2								兼1
	人類学B	2・3後		2								兼1
	歴史学A	1・2・3前		2								兼1
	歴史学B	1・2・3後		2								兼1
	心理学A	1・2・3前		2								兼2
	心理学B	1・2・3後		2								兼2
	教育原理	1前		2								兼1
	教育心理学	2前		2								兼1
	政治学A	1・2・3前		2								兼1
	政治学B	1・2・3後		2								兼1
	経済学A	1・2・3前		2								兼1
	経済学B	1・2・3後		2								兼1
	法学A	2・3前		2								兼1
	法学B	2・3後		2								兼1
	社会学A	1・2・3前		2								兼1
	社会学B	1・2・3後		2								兼1
	社会調査法A	2・3前		2								兼1
	社会調査法B	2・3後		2								兼1
	現代社会論A	2・3前		2								兼1
	現代社会論B	2・3後		2								兼1
	教育社会学	1後		2								兼1
	健康科学A	1・2・3前		2								兼2
	健康科学B	1・2・3後		2								兼2
	認知科学A	2・3前		2								兼1
	認知科学B	2・3後		2								兼1
	環境と防災A	2・3前		2								兼1
	環境と防災B	2・3後		2								兼1
	自然科学概論A	1・2・3前		2								兼1
自然科学概論B	1・2・3後		2								兼1	
生物学A	2・3前		2								兼1	
生物学B	2・3後		2								兼1	
地球科学A	2・3前		2								兼1	
地球科学B	2・3後		2								兼1	
課題探究集中講座	1後		2								兼1	
課題探究セミナA	2・3前		2								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人間科学科目群	課題探究セミナーB	2・3後		2								兼1
	教養総合講座A	2・3前		2								兼1
	教養総合講座B	2・3後		2								兼1
	小計(16科目)	-	0	84	0	0	0	0	0	0	0	兼17
専門基礎科目群	基礎数学セミナー	1前			1							兼2
	基礎理科セミナー	1前			1							兼1
	線形代数1	1前		2								兼2
	線形代数2	1後		2								兼2
	基礎物理A	1後		2								兼1
	基礎物理B	2前		2								兼1
	現代物理学1	2前			2							兼1
	現代物理学2	2後			2							兼1
	化学1	1前		2								兼1
	化学2	1後		2								兼1
	化学基礎1	1前		2								兼1
	化学基礎2	1後		2								兼1
	数学基礎	1前		2								兼2
	解析学1	1前		2								兼2
	解析学2	1後		2								兼2
	解析学3	2前		2								兼2
	常微分方程式	2後		2								兼2
	力学1	1前		2								兼1
	力学2	1後		2								兼1
	力学3	2前		2								兼1
	基礎工学実験	2前		2								兼2
	建築基礎数理1	1前		2			1					
	建築基礎数理2	1後		2				1				
	建築概論	1前		2		5	6					
	芸術概論	1後		2				1				
	造形基礎実習	1前		2		1						
	建築デザイン基礎実習	1後		2								兼1
	インテリアデザイン基礎実習	1後		2								兼1
	建築の仕組み	1前		2								兼1
	環境色彩論	1後		2			1					
	力と形演習	1前		2		1						
	情報リテラシ	1前		1								兼1
	建築CAD1	2前		2								兼1
	建築CAD2	2後		2								兼1
	建築プレゼンテーション演習	3前		2		1						
	建築統計処理	3前		2			1					
	デジタルファブリケーション演習	3後		2		1						
小計(37科目)	-		0	65	6	5	6	0	0	0	0	兼15
専門科目群	建築・インテリア入門セミナー	1前		1		5	6					
	建築計画1	1後		2			1					
	建築計画2	2前		2		1						
	構造力学1	1後		2		1						兼1
	構造力学2	2前		2		1						兼1
	骨組の解析法	2後		2								兼1
	建築構法	1後		2								兼1
	建築材料	2前		2			1					
	建築環境材料	2後		2			1					
	構造・材料実験	3前		2		1	2					
	建築法規	3後		2								兼1
	建築・インテリア図法実習1	1前		2								兼3
	建築・インテリア図法実習2	1後		2								兼3
	建築設計1	2前		3		1	2					
	建築設計2	2後		3		2						
	建築設計3	3前		3		1	1					
	建築遺産A	2前		2			1					
	建築遺産B	2後		2			1					
	環境工学1	2前		2			1					
	環境工学2	2後		2			1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人間科学科目群	課題探究セミナーB	2・3後		2								兼1
	教養総合講座A	2・3前		2								兼1
	教養総合講座B	2・3後		2								兼1
	小計(42科目)	-	0	84	0	0	0	0	0	0	0	兼23
専門基礎科目群	基礎数学セミナー	1前			1							兼3
	基礎理科セミナー	1前			1							兼3
	線形代数1	1前		2								兼1
	線形代数2	1後		2								兼1
	基礎物理A	1後		2								兼2
	基礎物理B	2前		2								兼1
	現代物理学1	2前			2							兼1
	現代物理学2	2後			2							兼1
	化学1	1前		2								兼3
	化学2	1後		2								兼3
	化学基礎1	1前		2								兼1
	化学基礎2	1後		2								兼1
	数学基礎	1前		2								兼3
	解析学1	1前		2								兼5
	解析学2	1後		2								兼3
	解析学3	2前		2								兼2
	常微分方程式	2後		2								兼2
	力学1	1前		2								兼4
	力学2	1後		2								兼1
	力学3	2前		2								兼1
	基礎工学実験	2前		2								兼2
	建築基礎数理1	1前		2				1	0			
	建築基礎数理2	1後		2					1			
	建築概論	1前		2				6	4	1		
	芸術概論	1後		2						1		
	造形基礎実習	1前		2					1			兼1
	建築デザイン基礎実習	1後		2								兼2
	インテリアデザイン基礎実習	1後		2								兼1
	建築の仕組み	1前		2								兼2
	環境色彩論	1後		2								兼1
	力と形演習	1前		2			1					
	情報リテラシ	1前		1								兼1
	建築CAD1	2前		2								兼1
	建築CAD2	2後		2								兼1
	建築プレゼンテーション演習	3前		2			1					
	建築統計処理	3前		2					1			
	デジタルファブリケーション演習	3後		2			1					
小計(37科目)	-		0	65	6	6	4	1	0	0	0	兼32
専門科目群	建築・インテリア入門セミナー	1前		1				6	4	1		
	建築計画1	1後		2					1			
	建築計画2	2前		2				1				
	構造力学1	1後		2				1				兼1
	構造力学2	2前		2				1				兼1
	骨組の解析法	2後		2								兼1
	建築構法	1後		2								兼2
	建築材料	2前		2					1			
	建築環境材料	2後		2					1			
	構造・材料実験	3前		2			1	2				
	建築法規	3後		2								兼1
	建築・インテリア図法実習1	1前		2								兼3
	建築・インテリア図法実習2	1後		2					2	1		兼3
	建築設計1	2前		3			1	2				
	建築設計2	2後		3			2					
	建築設計3	3前		3			1	1				
	建築遺産A	2前		2					1			
	建築遺産B	2後		2					1			
	環境工学1	2前		2					1			
	環境工学2	2後		2					0		1	



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目群 展開科目	都市計画	4前	2								兼1
	まちづくり論	4前	2								兼1
	建築デザイン論	3後	2			1					
	総合空間設計1	3後	3			1	1				
	総合空間設計2	4前	3			3	2				
	建築デザイン史	3前	2			1					
	カとデザイン	3後	2			1					
	構造設計演習	3後	2								兼1
	維持・保全工学	3後	2			1					
	建築生産1	2前	2								兼1
	建築生産2	2後	2								兼1
	建築測量学同実習	4前	2								兼1
	環境心理学	3前	2								兼1
	環境評価演習	3後	2			1	1				
	振動と塑性解析	3後	2								兼1
	鉄筋コンクリート構造演習	3前	2				1				
	鋼構造工学	3前	2								兼1
	RC構造工学	3後	2					1			
	建設技術	2前	2					1			兼1
	建設マネジメント	2後	2								兼1
	建設技術演習	3前	2					1			
	維持管理工学	3前	2						1		兼2
	地盤環境工学	3前	2								兼2
	応用地質学	3前	2			1					
	地盤設計技術	3後	2								兼1
	流域環境学	1後	2			1					
	河川学	3前	2			1					
	ピオトープ設計	2後	3								兼1
	環境アセスメント	3前	2								兼2
	資源循環工学	3後	2								兼1
	交通計画	2後	2			1					
	都市デザイン実習	3前	2			1					兼1
	まちづくり関係法規	3前	2								兼1
	輸送システム	3後	2								兼1
	ランドスケープ設計	2後	3								兼2
	道路工学	3前	2								兼1
道路空間設計	3後	3			1						
CAD演習2	2後	2								兼1	
応用測量	2後	2								兼1	
応用数学	2後	2			1						
GIS基礎	3前	2				1				兼1	
GIS演習	3後	2				1				兼1	
3D設計基礎	3前	2				1					
VR演習	3後	2								兼1	
エクセレント 세미나	3前	1			3	1	1				
防災論	3後	2			2						
学びとキャリア	3前	2			3	1	1				
総合土木工学	3後	2			3	1	1				
技術者倫理	3後	2						1		兼1	
キャリア開発3	2後	1								兼1	
キャリア開発4	3前	1			1					兼1	
プロジェクト演習3	2後	2			2	1				兼1	
プロジェクト演習4	3前	2			2	1				兼1	
プロジェクト演習5	3後	2			2	1				兼1	
ランドスケープデザイン	2前	2								兼1	
かおりデザイン演習3	2後	2			1					兼1	
かおりデザイン演習4	3前	2			1	1					
かおりデザイン演習5	3後	2								兼2	
色彩論	2前	2								兼1	
生活環境評価演習1	2後	2			1					兼1	
生活環境評価演習2	3前	2			1					兼2	
生活環境評価演習3	3後	4								兼3	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目群 展開科目	都市計画	4前	2									兼1
	まちづくり論	4前	2									兼1
	建築デザイン論	3後	2				1					
	総合空間設計1	3後	3			1	1					
	総合空間設計2	4前	3			3	2					
	建築デザイン史	3前	2			1						
	カとデザイン	3後	2			1						
	構造設計演習	3後	2									兼1
	維持・保全工学	3後	2			1						
	建築生産1	2前	2									兼1
	建築生産2	2後	2									兼1
	建築測量学同実習	4前	2									兼1
	環境心理学	3前	2									兼1
	環境評価演習	3後	2				0	1	1			
	振動と塑性解析	3後	2									兼1
	鉄筋コンクリート構造演習	3前	2					1				
	鋼構造工学	3前	2									兼1
	RC構造工学	3後	2						1			
	建設技術	2前	2						1			兼1
	建設マネジメント	2後	2									兼1
	建設技術演習	3前	2						1			
	維持管理工学	3前	2							1		兼2
	地盤環境工学	3前	2									兼2
	応用地質学	3前	2			1						
	地盤設計技術	3後	2									兼1
	流域環境学	1後	2			1						
	河川学	3前	2			1						
	ピオトープ設計	2後	3									兼1
	環境アセスメント	3前	2									兼2
	資源循環工学	3後	2									兼1
	交通計画	2後	2			1						
	都市デザイン実習	3前	2			1						兼1
	まちづくり関係法規	3前	2									兼1
	輸送システム	3後	2									兼1
	ランドスケープ設計	2後	3									兼2
	道路工学	3前	2									兼1
道路空間設計	3後	3			1							
CAD演習2	2後	2									兼1	
応用測量	2後	2									兼1	
応用数学	2後	2			1							
GIS基礎	3前	2				1					兼1	
GIS演習	3後	2				1					兼1	
3D設計基礎	3前	2				1						
VR演習	3後	2									兼1	
エクセレントセミナー	3前	1			3	1	1					
防災論	3後	2			2							
学びとキャリア	3前	2			3	1	1					
総合土木工学	3後	2			3	1	1					
技術者倫理	3後	2						1			兼1	
キャリア開発3	2後	1									兼1	
キャリア開発4	3前	1			1						兼1	
プロジェクト演習3	2後	2			2	1					兼1	
プロジェクト演習4	3前	2			2	1					兼1	
プロジェクト演習5	3後	2			2	1					兼1	
ランドスケープデザイン	2前	2									兼1	
かおりデザイン演習3	2後	2			1						兼1	
かおりデザイン演習4	3前	2			1	1						
かおりデザイン演習5	3後	2									兼2	
色彩論	2前	2									兼1	
生活環境評価演習1	2後	2			1						兼1	
生活環境評価演習2	3前	2			1						兼2	
生活環境評価演習3	3後	4									兼3	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
展開科目	食品とかおり	2前		2								兼1
	かおり成分と調香3	2前		2								兼2
	かおり成分と調香4	2後		2								兼2
	におい・かおり測定演習1	2後		4			1					兼2
	におい・かおり測定演習2	3前		4			1					兼2
	におい・かおり測定演習3	3後		4		1	1					兼1
	アロマテラピー演習	3前		2								兼2
	消臭原理	2後		2			1					
	脱臭性能評価演習	3前		2			1					兼1
	悪臭防止法	2後		2			1					
小計(76科目)	-		0	162	0	10	8	1	0	0		兼39
卒業研究	ゼミナ1	3後		2		7	7					
	ゼミナ2	4前		2		7	7					
	卒業研究	4通	6			10	8	1				
	総合ゼミナ1	4前		2		3	1	1				
	総合ゼミナ2	4後		2		3	1	1				
小計(5科目)	-		6	8	0	10	8	1	0	0		
自由科目	幾何学1	3前			2							兼1
	幾何学2	3後			2							兼1
	数理統計学1	3前			2							兼1
	数理統計学2	3後			2							兼1
	応用解析1	2前			2							兼1
	応用解析2	2後			2							兼1
	応用解析3	4前			2							兼1
	応用解析4	4後			2							兼1
	線形代数3	4前			2							兼1
	代数系入門	4後			2							兼1
	工学概論	3前			2							兼1
	職業指導1	4前			2							兼1
	職業指導2	4後			2							兼1
小計(13科目)	-		0	0	26	0	0	0	0	0		兼7
合計(266科目)	-		15	488	33	10	8	1	0	0		兼94
卒業要件及び履修方法												
人間科学科目群から必修科目9単位を含め27単位、専門基礎科目群及び専門科目群から必修科目6単位を含め97単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:44単位(年間))												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
展開科目	食品とかおり	2前		2								兼1
	かおり成分と調香3	2前		2								兼2
	かおり成分と調香4	2後		2								兼2
	におい・かおり測定演習1	2後		4				1				兼2
	におい・かおり測定演習2	3前		4				1				兼2
	におい・かおり測定演習3	3後		4		1	1					兼1
	アロマテラピー演習	3前		2								兼2
	消臭原理	2後		2			1					
	脱臭性能評価演習	3前		2			1					兼1
	悪臭防止法	2後		2			1					
小計(76科目)	-		0	162	0	12	6	2	2	0	0	兼39
卒業研究	ゼミナ1	3後		2		8	4	1				
	ゼミナ2	4前		2		8	4	1				
	卒業研究	4通	6			11	5	2				
	総合ゼミナ1	4前		2		3	1	1				
	総合ゼミナ2	4後		2		3	1	1				
小計(5科目)	-		6	8	0	11	6	2	2	0	0	
自由科目	幾何学1	3前			2							兼1
	幾何学2	3後			2							兼1
	数理統計学1	3前			2							兼1
	数理統計学2	3後			2							兼1
	応用解析1	2前			2							兼1
	応用解析2	2後			2							兼1
	応用解析3	4前			2							兼1
	応用解析4	4後			2							兼1
	線形代数3	4前			2							兼1
	代数系入門	4後			2							兼1
	工学概論	3前			2							兼1
	職業指導1	4前			2							兼1
	職業指導2	4後			2							兼1
小計(13科目)	-		0	0	26	0	0	0	0	0		兼8
合計(266科目)	-		15	488	33	12	6	2	2	0	0	兼141
卒業要件及び履修方法												
人間科学科目群から必修科目9単位を含め27単位、専門基礎科目群及び専門科目群から必修科目6単位を含め97単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:44単位(年間))												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために**未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入**してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「**臨地実務実習**」による授業科目には「【臨】」、「**連携実務演習**」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
- (例: 記載順)【認可時又は届出時】→【令和6年度】(新)→【令和5年度】(新)→【令和4年度】(新)→【令和3年度】(新)→【令和6年度】(旧)→【令和5年度】(旧)
- (1) 一②授業科目表に関する変更内容

### 【令和6年度】

<p>■開講クラス数の変更により、以下のとおり教員配置を変更。</p> <p>「ファースト・イヤー・セミナー」の兼任・兼任教員を「4」から「9」に変更。</p> <p>「英語スキル1」の兼任・兼任教員を「3」から「12」に変更。</p> <p>「英語スキル2」の兼任・兼任教員を「3」から「9」に変更。</p> <p>「スポーツ実技A」の兼任・兼任教員を「2」から「7」に変更。</p> <p>「スポーツ実技B」の兼任・兼任教員を「2」から「10」に変更。</p> <p>「心理学A」、「心理学B」の兼任・兼任教員を「1」から「2」に変更。</p> <p>「基礎数学セミナー」の兼任・兼任教員を「2」から「3」に変更。</p> <p>「基礎理科セミナー」の兼任・兼任教員を「1」から「3」に変更。</p> <p>「線形代数1」、「線形代数2」の兼任・兼任教員を「2」から「1」に変更。</p> <p>「造形基礎実習」の兼任・兼任教員を「0」から「2」に変更。</p> <p>「芸術概論」の兼任・兼任教員を「0」から「1」に変更。</p> <p>「構造力学1」の兼任・兼任教員を「0」から「1」に変更。</p> <p>「建築構法」の兼任・兼任教員を「1」から「2」に変更。</p> <p>■教員人事に関連し、以下のとおり教員配置を変更。</p> <p>「建築基礎数理1」の専任教員等のうち教授を「0」から「1」、准教授を「1」から「0」に変更。</p> <p>「建築概論」、「建築・インテリア入門セミナー」の専任教員等のうち教授を「5」から「6」、准教授を「6」から「4」に、講師を「0」から「1」に変更。</p> <p>「環境工学2」、「環境工学3」、「環境評価演習」の専任教員等のうち教授を「1」から「0」、講師を「0」から「1」に変更。</p> <p>「かおりデザイン入門セミナー」の専任教員等のうち教授を「2」から「3」、准教授を「1」から「0」に変更。</p> <p>「嗅覚測定法」の専任教員等のうち准教授を「1」から「0」、兼任・兼任教員を「2」から「1」に変更。</p> <p>「インターンシップ(学外研修)」の専任教員等のうち教授を「1」から「2」、准教授を「2」から「1」に変更。</p> <p>「セミナー1」、「セミナー2」の専任教員等のうち教授を「7」から「8」、准教授を「7」から「4」、講師を「0」から「1」に変更。</p> <p>「卒業研究」の専任教員等のうち教授を「10」から「11」、准教授を「8」から「5」、講師を「1」から「2」に変更。</p> <p>■時間割編成の都合により、以下のとおり教員配置を変更。</p> <p>「構造工学1」、「構造工学2」の専任教員等のうち准教授を「0」から「1」、講師を「1」から「0」に変更。</p> <p>「都市空間インフラ入門セミナー」の専任教員等のうち准教授を「1」から「2」、兼任・兼任教員を「0」から「1」に変更。</p> <p>「都市環境プロジェクト実習」の専任教員等のうち准教授を「1」から「0」、兼任・兼任教員を「0」から「1」に変更。</p> <p>「プロジェクト演習1」の、兼任・兼任教員を「2」から「1」に変更。</p> <p>■教育効果向上のため、以下のとおり教員配置を変更。</p> <p>「建築・インテリア図法実習2」の専任教員等のうち教授を「0」から「2」、准教授を「0」から「1」に変更。</p>
--

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の**未開講や廃止については記入しない**でください。
  - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
7 科目	241 科目	18 科目	266 科目	7 科目 [ 0 ]	241 科目 [ 0 ]	18 科目 [ 0 ]	266 科目 [ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

### (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
  - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

### (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
  - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

### (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{266} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校舎の一部を併設高校 が使用する用途変更及 び厚生施設・課外活動 施設の見直しを行った (6) 校舎敷地と別地 滝春グランド(徒歩5分) 元浜運動場(バス15分) 東小山運動場(バス35 分)			
	校舎敷地	49,608.23㎡ <del>66,133.46㎡</del>	— ㎡	— ㎡	49,608.23㎡ <del>66,133.46㎡</del>				
	運動場用地	29,890.00㎡	16,061.85㎡	6,628.53㎡	52,580.38㎡				
	小 計	79,498.23㎡ <del>96,023.46㎡</del>	16,061.85㎡	6,628.53㎡	102,188.61㎡ <del>118,713.84㎡</del>				
	そ の 他	21,546.72㎡	— ㎡	— ㎡	21,546.72㎡				
	合 計	101,044.95㎡ <del>117,570.18㎡</del>	16,061.85㎡	6,628.53㎡	123,735.33㎡ <del>140,260.56㎡</del>				
(2) 校 舎	専 用	55,875.39㎡ <del>58,924.75㎡</del> (55,875.39㎡) <del>(58,924.75㎡)</del>	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	55,875.39㎡ <del>58,924.75㎡</del> (55,875.39㎡) <del>(58,924.75㎡)</del>	校舎の一部を併設高校 が使用する用途変更を 行った(6)			
	共 用								
(3) 教 室 等	講 義 室	58  65室	演 習 室  11室	実験実習室  182 200室	情報処理学習施設  18室 (補助職員 人)	語学学習施設  0室 (補助職員 人)	校舎の一部を併設高校 が使用する用途変更を 行った(6)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		令和6年4月に 専任教員1名を新規 採用のため(6)			
	建築学部建築学科			20 19 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書・電子ジャーナル・ 視聴覚資料の変更 (6)	
	建築学部	33,720 [4,815] <del>32,976 [4,808]</del> (33,720 [4,815]) <del>(32,976 [4,808])</del>	426 [166] (426 [166])	6 [0] <del>4 [0]</del> 6 [0] <del>4 [0]</del>	115 <del>99</del> (115) <del>(99)</del>	476 (476)	0 (0)		
	計	33,720 [4,815] <del>32,976 [4,808]</del> (33,720 [4,815]) <del>(32,976 [4,808])</del>	426 [166] (426 [166])	6 [0] <del>4 [0]</del> 6 [0] <del>4 [0]</del>	115 <del>99</del> (115) <del>(99)</del>	476 (476)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	3,589.94㎡		382席		255,000冊				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	3,387.77㎡		テニスコート 2面		ハンドボールコート 1面				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	予算変更に伴う共同研究 費等、図書購入費、 設備購入費の変更 (6)
		教員1人当り研究費等	456千円	456千円	図書購入費	4,430千円 <del>4,821千円</del>	4,430千円 <del>4,821千円</del>	4,430千円 <del>4,821千円</del>	
		共同研究費等	5,660千円 <del>5,915千円</del>	5,660千円 <del>5,915千円</del>	設備購入費	9,020千円 <del>8,569千円</del>	9,020千円 <del>8,569千円</del>	9,020千円 <del>8,569千円</del>	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,585千円	1,315千円	1,345千円	1,375千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、および外部企業等からの研究費、寄付金など						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を**赤字で見え消し**修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に**赤字で記入**してください。  
なお、昨年度の報告において**赤字で見え消し**した部分については、**見え消しのまま黒字**にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	大同大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考			
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					
工学部	4	320	-	1280	-	1.07	1.04	-	昭和39	-				
機械工学科	4	120	-	480	学士(工学)	1.08	1.06	-	昭和39	愛知県名古屋市南区滝春町10-3				
機械システム工学科	4	110	-	440	学士(工学)	1.09	1.05	-	平成22	同上				
電気電子工学科	4	90	-	360	学士(工学)	1.04	1.01	-	昭和39	同上				
建築学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	令和3	昭和50	同上	令和6年度入学生より学生募集停止			
建築学部	4	190	-	190	-	1.02	-	-	令和6					
建築学科	4	190	-	190	学士(建築学)	1.02	-	-	令和6	同上				
情報学部	4	305	-	1220	-	1.10	1.06	-	平成14					
情報システム学科	4	120	-	480	学士(情報)	1.12	1.08	-	平成20	同上				
情報デザイン学科	4	110	-	440	学士(情報)	1.13	1.10	-	平成20	同上				
総合情報学科	4	75	-	300	学士(情報)	1.00	0.96	-	平成24	同上				
大学全体	4	815	-	2690	-	1.08	1.05	-	-	-				

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。  
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
  - ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。  
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。  
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。  
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
  - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。  
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
  - ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
  - ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

<〇〇学部 △△学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和6年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授 (学長)	渡邊 慎一 (55) <令和6年4月> 博士(工学) 建築・インテリア入門 세미나 建築概論※ 建築設計1 環境工学2 環境工学3 環境評価演習 セミナー1 セミナー2 卒業研究	専	専 (学長)	渡邊 慎一 (55) <令和6年4月> 博士(工学) 建築・インテリア入門セミナー 建築概論※ 建築設計1 環境工学2 環境工学3 環境評価演習 セミナー1 セミナー2 卒業研究
専	教授	宇野 孝 (60) <令和6年4月> 五学士 建築・インテリア入門セミナー 建築概論※ 建築計画2 建築設計3 総合空間設計1 総合空間設計2 セミナー1 セミナー2 卒業研究	専	教授	宇野 孝 (60) <令和6年4月> 五学士 建築・インテリア入門セミナー 建築概論※ 建築計画2 建築設計3 総合空間設計1 総合空間設計2 セミナー1 セミナー2 卒業研究
専	教授	堀田 尚哉 (63(高)) <令和6年4月> 博士(工学) かおりデザイン入門セミナー 嗅覚測定法 消臭原理 悪臭防止法 プロジェクト演習3 プロジェクト演習4 プロジェクト演習5 かおりデザイン演習4 生活環境評価演習2 におい・かおり測定演習3 セミナー1 セミナー2 卒業研究	専	教授	堀田 尚哉 (63(高)) <令和6年4月> 博士(工学) かおりデザイン入門セミナー 嗅覚測定法 消臭原理 悪臭防止法 プロジェクト演習3 プロジェクト演習4 プロジェクト演習5 かおりデザイン演習4 生活環境評価演習2 におい・かおり測定演習3 セミナー1 セミナー2 卒業研究
専	教授 (専攻主任)	嶋田 善昭 (55) <令和6年4月> 博士(工学) 計画数理 ドボクの計画・調査 都市空間インフラ入門セミナー 都市環境プロジェクト実習 地域・都市計画 交通計画 都市デザイン実習 エクセレントセミナー 学びとキャリア 総合土木工学 道路空間設計 総合セミナー1 総合セミナー2 卒業研究	専	教授 (専攻主任)	嶋田 善昭 (55) <令和6年4月> 博士(工学) 計画数理 ドボクの計画・調査 都市空間インフラ入門セミナー 都市環境プロジェクト実習 地域・都市計画 交通計画 都市デザイン実習 エクセレントセミナー 学びとキャリア 総合土木工学 道路空間設計 総合セミナー1 総合セミナー2 卒業研究
専	教授	鷲見 晋也 (55) <令和6年4月> 博士(工学) ドボクの計画・調査 都市空間インフラ入門セミナー 流域環境学 流れ学1 流れ学2 河川学 エクセレントセミナー 学びとキャリア 防災論 総合土木工学 総合セミナー1 総合セミナー2 卒業研究	専	教授	鷲見 晋也 (55) <令和6年4月> 博士(工学) ドボクの計画・調査 都市空間インフラ入門セミナー 流域環境学 流れ学1 流れ学2 河川学 エクセレントセミナー 学びとキャリア 防災論 総合土木工学 総合セミナー1 総合セミナー2 卒業研究
専	教授 (副学長)	棚橋 秀行 (55) <令和6年4月> 博士(工学) ドボクの計画・調査 都市空間インフラ入門セミナー 地盤工学1 地盤工学2 地盤工学3 応用数学 学びとキャリア 応用地質学 エクセレントセミナー 総合土木工学 防災論 総合セミナー1 総合セミナー2 卒業研究	専	教授 (副学長)	棚橋 秀行 (55) <令和6年4月> 博士(工学) ドボクの計画・調査 都市空間インフラ入門セミナー 地盤工学1 地盤工学2 地盤工学3 応用数学 学びとキャリア 応用地質学 エクセレントセミナー 総合土木工学 防災論 総合セミナー1 総合セミナー2 卒業研究
専	教授	中島 貴光 (49) <令和6年4月> 博士(芸術) 建築・インテリア入門セミナー 建築概論※ 造形基礎実習 インテリア計画1 インテリア設計2 建築設計2 建築プレゼンテーション演習 デジタルファブリケーション演習 セミナー1 セミナー2 総合空間設計2 卒業研究	専	教授	中島 貴光 (49) <令和6年4月> 博士(芸術) 建築・インテリア入門セミナー 建築概論※ 造形基礎実習 インテリア計画1 インテリア設計2 建築設計2 建築プレゼンテーション演習 デジタルファブリケーション演習 セミナー1 セミナー2 総合空間設計2 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	萩原 祥幸 (59) <令和6年4月> 博士(工学)	専	教授	萩原 祥幸 (59) <令和6年4月> 博士(工学)
		建築・インテリア入門セミナー 建築概論※ 力と形演習 構造力学1 構造力学2 構造・材料実験 力とデザイン セミナー1 セミナー2 卒業研究			建築・インテリア入門セミナー 建築概論※ 力と形演習 構造力学1 構造力学2 構造・材料実験 力とデザイン セミナー1 セミナー2 卒業研究
専	教授 (専攻主任)	光田 恵 (60) <令和6年4月> 博士(学術)	専	教授 (専攻主任)	光田 恵 (60) <令和6年4月> 博士(学術)
		かおりデザイン入門セミナー 住居学 生活環境学1 環境の特性 プロジェクト演習1 プロジェクト演習2 かおりデザイン演習2 かおりデザイン演習3 生活環境評価演習1 プロジェクト演習3 プロジェクト演習4 プロジェクト演習5 キャリア開発4 脱臭性評価演習 セミナー1 セミナー2 卒業研究			かおりデザイン入門セミナー 住居学 生活環境学1 <b>心理学概論</b> 環境の特性 プロジェクト演習1 プロジェクト演習2 かおりデザイン演習2 かおりデザイン演習3 生活環境評価演習1 プロジェクト演習3 プロジェクト演習4 プロジェクト演習5 キャリア開発4 脱臭性評価演習 セミナー1 セミナー2 卒業研究
専	教授 (学部長)	武藤 隆 (56) <令和6年4月> 修士(芸術)	専	教授 (学部長)	武藤 隆 (56) <令和6年4月> 修士(芸術)
		建築・インテリア入門セミナー 建築概論※ インテリア計画2 デザインマネジメント演習1 建築設計2 インテリアエレメント演習1 デザインマネジメント演習2 インテリア設計3 セミナー1 セミナー2 総合空間設計2 卒業研究			建築・インテリア入門セミナー 建築概論※ <b>芸術概論</b> <b>建築・インテリア図法実習2</b> インテリア計画2 デザインマネジメント演習1 建築設計2 インテリアエレメント演習1 デザインマネジメント演習2 インテリア設計3 セミナー1 セミナー2 総合空間設計2 卒業研究
			専	教授	近藤 夏美 (63) <令和6年4月> 博士(工学)
専	准教授	岡本 洋輔 (46) <令和6年4月> 博士(学術)	専	准教授	岡本 洋輔 (46) <令和6年4月> 博士(学術)
		建築・インテリア入門セミナー 建築概論※ 環境色彩論 環境工学1 環境工学3 建築統計処理 建築設備 環境評価演習 セミナー1 セミナー2 卒業研究			建築・インテリア入門セミナー 建築概論※ <b>環境色彩論</b> 環境工学1 環境工学3 建築統計処理 建築設備 環境評価演習 セミナー1 セミナー2 卒業研究
専	准教授	高橋 乙 (43) <令和6年4月> 博士(工学)	専	准教授	高橋 乙 (43) <令和6年4月> 博士(工学)
		建築・インテリア入門セミナー 建築概論※ 建築基礎数理2 コンクリート系構造 鉄筋コンクリート構造演習 構造・材料実験 セミナー1 セミナー2 卒業研究			建築・インテリア入門セミナー 建築概論※ 建築基礎数理2 コンクリート系構造 鉄筋コンクリート構造演習 構造・材料実験 セミナー1 セミナー2 卒業研究
専	准教授	高柳 伸一 (56) <令和6年4月> 博士(工学)	専	教授 准教授	高柳 伸一 (56) <令和6年4月> 博士(工学)
		建築・インテリア入門セミナー 建築概論※ 建築基礎数理1 芸術概論 建築遺産A 建築遺産B 建築デザイン史 建築デザイン論 インターンシップ(学外研修) セミナー1 セミナー2 卒業研究			建築・インテリア入門セミナー 建築概論※ 建築基礎数理1 <b>芸術概論</b> 建築遺産A 建築遺産B 建築デザイン史 建築デザイン論 インターンシップ(学外研修) セミナー1 セミナー2 卒業研究
専	准教授	棚村 壽三 (40) <令和6年4月> 博士(工学)	専	准教授	棚村 壽三 (40) <令和6年4月> 博士(工学)
		かおりデザイン入門セミナー 視覚測定法 におい・かおり測定演習1 におい・かおり測定演習2 におい・かおり測定演習3 プロジェクト演習3 プロジェクト演習4 プロジェクト演習5 かおりデザイン演習4 インターンシップ(学外研修) セミナー1 セミナー2 卒業研究			<b>視覚測定法</b> <b>におい・かおり測定演習1</b> <b>におい・かおり測定演習2</b> <b>におい・かおり測定演習3</b> <b>プロジェクト演習3</b> <b>プロジェクト演習4</b> <b>プロジェクト演習5</b> <b>かおりデザイン演習4</b> <b>インターンシップ(学外研修)</b> <b>セミナー1</b> <b>セミナー2</b> <b>卒業研究</b>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	樋口 恵一 (46) <令和6年4月> 博士(工学) ドボクの計画・調査 都市空間インフラ入門セミナー 都市環境プランニング 都市環境プロジェクト実習 測量学実習1 測量学実習2 GIS基礎 3D設計基礎 エクセレントセミナー 学びとキャリア GIS演習 インターンシップ(学外研修) 総合土木工学 総合セミナー1 総合セミナー2 卒業研究	専	准教授	樋口 恵一 (46) <令和6年4月> 博士(工学) ドボクの計画・調査 都市空間インフラ入門セミナー 都市環境プランニング <b>都市環境プロジェクト実習</b> 測量学実習1 測量学実習2 GIS基礎 3D設計基礎 エクセレントセミナー 学びとキャリア GIS演習 インターンシップ(学外研修) 総合土木工学 総合セミナー1 総合セミナー2 卒業研究
専	准教授	藤森 繁 (48) <令和6年4月> 博士(工学) 建築・インテリア入門セミナー 建築概論※ 建築材料 建築環境材料 構造・材料実験 調構造 維持・保全工学 セミナー1 セミナー2 卒業研究	専	<b>教授 准教授</b>	藤森 繁 (48) <令和6年4月> 博士(工学) 建築・インテリア入門セミナー 建築概論※ 建築材料 建築環境材料 構造・材料実験 調構造 維持・保全工学 セミナー1 セミナー2 卒業研究
専	准教授	船橋 仁奈 (47) <令和6年4月> 修士(建築) 建築・インテリア入門セミナー 建築概論※ インテリア設計1 建築設計1 空間文化論 総合空間設計1 総合空間設計2 セミナー1 セミナー2 卒業研究	専	准教授	船橋 仁奈 (47) <令和6年4月> 修士(建築) 建築・インテリア入門セミナー 建築概論※ インテリア設計1 建築設計1 空間文化論 総合空間設計1 総合空間設計2 セミナー1 セミナー2 卒業研究
専	准教授	米澤 陸 (41) <令和6年4月> 博士(工学) 建築・インテリア入門セミナー 建築概論※ 建築計画1 建築設計1 建築設計3 建築企画論 セミナー1 セミナー2 総合空間設計2 卒業研究	専	准教授	米澤 陸 (41) <令和6年4月> 博士(工学) 建築・インテリア入門セミナー 建築概論※ 建築計画1 <b>建築・インテリア設法実習2</b> 建築設計1 建築設計3 建築企画論 セミナー1 セミナー2 総合空間設計2 卒業研究
			専	<b>准教授</b>	<b>宮澤 寿次 (43) &lt;令和6年4月&gt; 博士(工学) 都市空間インフラ入門セミナー ドボクの計画・調査 構造工学1 構造工学2</b>
専	講師	本全 博雄 (53) <令和6年4月> 博士(工学) ドボクの計画・調査 都市空間インフラ入門セミナー 構造工学1 構造工学2 構造工学3 建設技術 建設技術演習 維持管理工学 エクセレントセミナー 学びとキャリア RC構造工学 技術者倫理 総合土木工学 総合セミナー1 総合セミナー2 卒業研究	専	講師	本全 博雄 (53) <令和6年4月> 博士(工学) ドボクの計画・調査 都市空間インフラ入門セミナー <b>構造工学1 構造工学2 構造工学3</b> 建設技術 建設技術演習 維持管理工学 エクセレントセミナー 学びとキャリア RC構造工学 技術者倫理 総合土木工学 総合セミナー1 総合セミナー2 卒業研究
			専	<b>講師</b>	<b>森沢 誠 (46) &lt;令和6年4月&gt; 博士(工学) 建築・インテリア入門セミナー 建築概論※ 構造工学2 構造工学3 高度評価演習 セミナー1 セミナー2 卒業研究</b>
兼任	教授	今井 健二 (55) <令和6年4月> 博士(理学) ファースト・イヤー・セミナー 基礎物理A 基礎物理B	兼任	教授	今井 健二 (55) <令和6年4月> 博士(理学) ファースト・イヤー・セミナー <b>情報リテラシー概論 データサイエンス概論</b> 基礎物理A 基礎物理B
兼任	教授	加藤 聡一 (59) <令和6年4月> 修士(教育学)※ 教育原理 教育社会学 職業指導1 職業指導2	兼任	<b>教授</b>	<b>加藤 聡一 (59) &lt;令和6年4月&gt; 修士(教育学)※ 教育基礎 教育社会学 職業指導1 職業指導2</b>
兼任	教授	岸谷 康夫 (64(高)) <令和6年4月> 文学士 ファースト・イヤー・セミナー	兼任	教授	岸谷 康夫 (64(高)) <令和6年4月> 文学士 ファースト・イヤー・セミナー

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	小崎 肇典 (51) <令和6年4月> 修士(文学)※	兼任	教授	小崎 肇典 (51) <令和6年4月> 修士(文学)※
		文学A 文学B 英語スキル1 英語スキル2 資格英語			文学A 文学B 英語スキル1 英語スキル2 資格英語
兼任	教授	齋田 浩見 (51) <令和6年4月> 博士(人間・環境学)	兼任	教授	齋田 浩見 (51) <令和6年4月> 博士(人間・環境学)
		現代物理学1 現代物理学2 力学1 力学2 力学3			現代物理学1 現代物理学2 力学1 <b>力学2</b> <b>力学3</b>
兼任	教授	大塚 肇二 (68(高)) <令和8年4月> 博士(工学) 地盤環境工学 環境アセスメント	兼任	<b>講師</b> 教授	大塚 肇二 (68(高)) <令和8年4月> 博士(工学) 地盤環境工学 環境アセスメント
兼任	教授	高山 努 (53) <令和6年4月> 博士(理学)	兼任	教授	高山 努 (53) <令和6年4月> 博士(理学)
		化学基礎1 化学基礎2 基礎工学実験			<b>ファースト・イヤー・セミナー</b> <b>化学1</b> <b>化学2</b> <b>化学基礎1</b> <b>化学基礎2</b> <b>化学基礎3</b> 基礎工学実験
兼任	教授	田中 宏昌 (50) <令和6年4月> 博士(理学)	兼任	教授	田中 宏昌 (50) <令和6年4月> 博士(理学)
		化学1 化学2			<b>ファースト・イヤー・セミナー</b> 化学1 化学2
兼任	教授	成田 淳一郎 (65(高)) <令和6年4月> 博士(理学)	兼任	教授	成田 淳一郎 (65(高)) <令和6年4月> 博士(理学)
		数学基礎 解析学3 線形代数3 代数学入門 基礎数学セミナー			<b>数学基礎</b> 解析学3 線形代数3 代数学入門 <b>基礎数学セミナー</b>
兼任	教授	服部 文彦 (66(高)) <令和6年4月> 国際学修士	兼任	教授	服部 文彦 (66(高)) <令和6年4月> 国際学修士
		哲学A 哲学B 人類学A 人類学B			哲学A 哲学B 人類学A 人類学B
兼任	教授	原科 浩 (62) <令和6年4月> 博士(理学)	兼任	教授	原科 浩 (62) <令和6年4月> 博士(理学)
		基礎工学実験 自然科学概論A			<b>ファースト・イヤー・セミナー</b> <b>力学1</b> <b>基礎物理A</b> 基礎工学実験 自然科学概論A
兼任	教授	平林 健治 (62) <令和6年4月> 博士(学術)	兼任	教授	平林 健治 (62) <令和6年4月> 博士(学術)
		英語スキル1 英語スキル2 資格英語			<b>ファースト・イヤー・セミナー</b> 英語スキル1 英語スキル2 資格英語
兼任	教授	二村 俊英 (49) <令和6年4月> 博士(理学)	兼任	教授	二村 俊英 (49) <令和6年4月> 博士(理学)
		基礎数学セミナー 解析学2 応用解析1 応用解析2 数学基礎 解析学3			<b>基礎数学セミナー</b> <b>解析学2</b> 応用解析1 応用解析2 数学基礎 解析学3
兼任	教授	松井 豊次 (65(高)) <令和4月> 文学修士・修士(教育学)	兼任	教授	松井 豊次 (65(高)) <令和4月> 文学修士・修士(教育学)
		英語スキル1 英語スキル2			英語スキル1 英語スキル2
兼任	教授	柳原 克行 (52) <令和6年4月> 博士(法学)	兼任	教授	柳原 克行 (52) <令和6年4月> 博士(法学)
		政治学A 政治学B 法学A 法学B 課題探求セミナーA 現代社会学A			<b>ファースト・イヤー・セミナー</b> 政治学A 政治学B 法学A 法学B 課題探求セミナーA 現代社会学A
兼任	教授	山田 雄太 (52) <令和6年4月> 修士(学術)※	兼任	教授	山田 雄太 (52) <令和6年4月> 修士(学術)※
		スポーツ実技A スポーツ実技B スポーツと健康の科学B 健康科学A 健康科学B			<b>ファースト・イヤー・セミナー</b> スポーツ実技A スポーツ実技B スポーツと健康の科学B 健康科学A 健康科学B
			兼任	<b>教授</b>	<b>藤井 功昭</b> (57) <令和6年4月> 博士(学術)
					英語スキル1 英語スキル2
兼任	准教授	上野 康平 (43) <令和6年4月> 博士(人間・環境学)	兼任	准教授	上野 康平 (43) <令和6年4月> 博士(人間・環境学)
		線形代数2 微分学1 微分学2 解析学1			線形代数2 微分学1 微分学2 解析学1

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	岡 康之 (47) <令和6年4月> 博士(理学)	兼任	准教授	岡 康之 (47) <令和6年4月> 博士(理学)
		応用解析3 応用解析4 線形代数1 解析学1			<b>ファースト・イヤー・セミナー</b> 応用解析3 応用解析4 <b>線形代数1</b> <b>解析学1</b> <b>数学基礎</b>
兼任	准教授	小堀 恭子 (50) <令和6年4月> 博士(体育学)	兼任	准教授	小堀 恭子 (50) <令和6年4月> 博士(体育学)
		スポーツ実技A ファースト・イヤー・セミナー スポーツと健康の科学A 健康科学A スポーツ実技B 健康科学B			スポーツ実技A ファースト・イヤー・セミナー スポーツと健康の科学A 健康科学A スポーツ実技B 健康科学B
兼任	准教授	松本 孝文 (46) <令和6年4月> 博士(社会学)	兼任	准教授	松本 孝文 (46) <令和6年4月> 博士(社会学)
		課題探究セミナーB 経済学A 経済学B 社会学A 社会学B 環境と防災A 環境と防災B 社会調査法A 社会調査法B 現代社会論B 課題探究集中講座			<b>ファースト・イヤー・セミナー</b> 課題探究セミナーB 経済学A 経済学B 社会学A 社会学B 環境と防災A 環境と防災B 社会調査法A 社会調査法B 現代社会論B <b>課題探究集中講座</b>
			兼任	准教授	川原 誠 (50) <令和6年4月> 修士(教育学)※
					<b>職業指導1</b>
兼任	講師	田中 清彦 (38) <令和6年4月> 博士(理学)	兼任	講師	田中 清彦 (38) <令和6年4月> 博士(理学)
		数理統計学1 数理統計学2 線形代数1 線形代数2 解析学2 常微分方程式			<b>職業指導1</b> <b>国中・国高</b> <令和6年4月> <b>接主(国中)</b> <b>数理統計学1</b> <b>数理統計学2</b> <b>線形代数1</b> <b>線形代数2</b> <b>解析学2</b> <b>常微分方程式</b>
兼任	講師	山内 昇 (38) <令和6年4月> 修士(文学)修士(学術)	兼任	講師	山内 昇 (38) <令和6年4月> 修士(文学)修士(学術)
		資格英語 実務英語 英語ライティング 英語プレゼンテーション ファースト・イヤー・セミナー			英語スキル1 英語スキル2 英語ライティング 実践英語 英語ライティング 英語プレゼンテーション ファースト・イヤー・セミナー
			兼任	講師	長谷川 舞一 (34) <令和6年4月> 博士(理学)
					<b>数理統計学1</b> <b>数理統計学2</b> <b>解析学1</b> <b>解析学2</b> <b>日英 直訳</b> (32) <令和6年4月> <b>博士(人間科学)</b> <b>心理学A</b> <b>心理学B</b>
兼任	講師	勝部 昌彦 (67) <令和6年9月> 教育学士	兼任	講師	勝部 昌彦 (67) <令和6年9月> 教育学士
		食品とかわり プロジェクト演習1※ 生活環境評価演習2 生活環境評価演習3			食品とかわり プロジェクト演習1※ 生活環境評価演習2 生活環境評価演習3
兼任	講師	阿部 尚仁 (46) <令和6年9月> 博士(薬学)	兼任	講師	阿部 尚仁 (46) <令和6年9月> 博士(薬学)
		におい・かわり測定演習1			におい・かわり測定演習1
兼任	講師	寛川 保実 (68) <令和7年4月> 高等専門学校卒	兼任	講師	寛川 保実 (68) <令和7年4月> 高等専門学校卒
		におい・かわり測定演習1 におい・かわり測定演習2 におい・かわり測定演習3 嗅覚測定法			におい・かわり測定演習1 におい・かわり測定演習2 におい・かわり測定演習3 嗅覚測定法
兼任	講師	安藤 健一郎 (52) <令和6年9月> 高等専門学校卒	兼任	講師	安藤 健一郎 (52) <令和6年9月> 高等専門学校卒
		応用測量 測量学実習1 測量学実習2 建築測量学実習			応用測量 測量学実習1 測量学実習2 建築測量学実習
兼任	講師	井川 敬満 (64) <令和8年4月> 高等専門学校卒	兼任	講師	井川 敬満 (64) <令和8年4月> 高等専門学校卒
		維持管理工学			維持管理工学
兼任	講師	市田 彰秀 (50) <令和8年9月> 学士(工学)	兼任	講師	市田 彰秀 (50) <令和8年9月> 学士(工学)
		建築法規			建築法規
兼任	講師	一ノ瀬 昇 (66) <令和6年9月> 理学士	兼任	講師	一ノ瀬 昇 (66) <令和6年9月> 理学士
		かわり成分と調香2 かわり成分と調香3			かわり成分と調香2 かわり成分と調香3

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	伊藤 裕貴 (43) ＜令和6年4月＞ 博士(数理学)	兼任	講師	伊藤 裕貴 (43) ＜令和6年4月＞ 博士(数理学)
		数値解析1 数値解析2			基礎数学セミナー 解析学1 解析学2 数値解析1 数値解析2
兼任	講師	伊藤 文徳 (58) ＜令和7年4月＞ 学士(工学)	兼任	講師	伊藤 文徳 (58) ＜令和7年4月＞ 学士(工学)
		建築生産1 建築生産2			建築生産1 建築生産2
兼任	講師	伊藤 誠 (68) ＜令和6年4月＞ 工学士	兼任	講師	伊藤 誠 (68) ＜令和6年4月＞ 工学士
		社会基盤設計			社会基盤設計
兼任	講師	伊藤 実花 (53) ＜令和6年4月＞ 短期大卒業	兼任	講師	伊藤 実花 (53) ＜令和6年4月＞ 短期大卒業
		基礎英語セミナー			基礎英語セミナー
兼任	講師	伊藤 綾子 (45) ＜令和8年4月＞ 修士(工学)	兼任	講師	伊藤 綾子 (45) ＜令和8年4月＞ 修士(工学)
		住空間論			住空間論
兼任	講師	大副 陸義 (58) ＜令和8年9月＞ 修士(工学)	兼任	講師	大副 陸義 (58) ＜令和8年9月＞ 修士(工学)
		VR演習			VR演習
兼任	講師	浦邊 綾子 (39) ＜令和6年4月＞ 修士(心理学)	兼任	講師	浦邊 綾子 (39) ＜令和6年4月＞ 修士(心理学)
		心理学概論			心理学概論 心臓学概論
兼任	講師	遠藤 智史 (41) ＜令和6年9月＞ 博士(薬科学)	兼任	講師	遠藤 智史 (41) ＜令和6年9月＞ 博士(薬科学)
		プロジェクト演習1※			プロジェクト演習1※
兼任	講師	大嶋 芳康 (52) ＜令和6年4月＞ 学士(音楽)	兼任	講師	大嶋 芳康 (52) ＜令和6年4月＞ 学士(音楽)
		基礎英語セミナー			基礎英語セミナー
兼任	講師	太田 和哉 (66) ＜令和6年9月＞ 農学士	兼任	講師	太田 和哉 (66) ＜令和6年9月＞ 農学士
		測量学同英習1※ 測量学同英習2※			測量学同英習1※ 測量学同英習2※
兼任	講師	大塚 麻里子 (54) ＜令和5年4月＞ 学士(人文科学)	兼任	講師	大塚 麻里子 (54) ＜令和5年4月＞ 学士(人文科学)
		基礎情報地理1 基礎情報地理2 応用情報地理1 応用情報地理2			基礎情報地理1 基礎情報地理2 応用情報地理1 応用情報地理2
兼任	講師	大塚 健二 (66) ＜令和8年4月＞ 工学士	兼任	講師	大塚 健二 (66) ＜令和8年4月＞ 工学士
		道路工学			道路工学
兼任	講師	岡崎 哲 (51) ＜令和7年4月＞ 学士(文学) 学士(国際関係論)	兼任	講師	岡崎 哲 (51) ＜令和7年4月＞ 学士(文学) 学士(国際関係論)
		教養総合講座A 教養総合講座B			教養総合講座A 教養総合講座B
兼任	講師	小木曾 了 (49) ＜令和6年4月＞ 博士(工学)	兼任	講師	小木曾 了 (49) ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		自然科学概論B 基礎理科セミナー			自然科学概論B 化学1 化学2 基礎理科セミナー
兼任	講師	小澤 正樹 (62) ＜令和6年4月＞ 経済学士	兼任	講師	小澤 正樹 (62) ＜令和6年4月＞ 経済学士
		情報リテラシ			情報リテラシ
兼任	講師	賈 伊明 (31) ＜令和6年4月＞ 修士(文学)	兼任	講師	賈 伊明 (31) ＜令和6年4月＞ 修士(文学)
		中国語入門1 中国語入門2			中国語入門1 中国語入門2
兼任	講師	葛山 俊亮 (62) ＜令和9年4月＞ 工学士	兼任	講師	葛山 俊亮 (62) ＜令和9年4月＞ 工学士
		まちづくり論			まちづくり論
兼任	講師	加藤 秀樹 (50) ＜令和6年9月＞ 博士(工学)	兼任	講師	加藤 秀樹 (50) ＜令和6年9月＞ 博士(工学)
		情報処理2			情報処理2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	川井 大樹 (41) <令和7年4月> 学士(工学) 建築CAD1 建築CAD2	兼任	講師	川井 大樹 (41) <令和7年4月> 学士(工学) 建築CAD1 建築CAD2
兼任	講師	岸上 奈英江 (45) <令和6年9月> 学士(教育学) プロジェクト演習2 かおりデザイン演習2 かおり成分と調香2 かおりデザイン演習5 かおり成分と調香3 かおり成分と調香4 アロマフレバー演習 観臭性能評価演習	兼任	講師	岸上 奈英江 (45) <令和6年9月> 学士(教育学) プロジェクト演習2 かおりデザイン演習2 かおり成分と調香2 かおりデザイン演習5 かおり成分と調香3 かおり成分と調香4 アロマフレバー演習 観臭性能評価演習
兼任	講師	福山 大 (62) <令和8年4月> 博士(工学) 地盤環境工学 環境アセスメント	兼任	講師	福山 大 (62) <令和8年4月> 博士(工学) 地盤環境工学 環境アセスメント
兼任	講師	小林 高浩 (61) <令和7年9月> 農学士 ランドスケープ設計	兼任	講師	小林 高浩 (61) <令和7年9月> 農学士 ランドスケープ設計
兼任	講師	小松原 智子 (65) <令和7年4月> 修士(学際) キャリア開発2 キャリア開発3	兼任	講師	小松原 智子 (65) <令和7年4月> 修士(学際) キャリア開発2 キャリア開発3
兼任	講師	近藤 早紀 (30) <令和7年4月> 博士(工学) かおりデザイン演習3 生活環境評価演習1 生活環境評価演習2 生活環境評価演習3 嗅覚測定法	兼任	講師	近藤 早紀 (30) <令和7年4月> 博士(工学) かおりデザイン演習3 生活環境評価演習1 生活環境評価演習2 生活環境評価演習3 嗅覚測定法
兼任	講師	佐々木 賢一 (58) <令和7年4月> 工学士 地域・都市計画 都市デザイン実習	兼任	講師	佐々木 賢一 (58) <令和7年4月> 工学士 地域・都市計画 都市デザイン実習
兼任	講師	島田 隆 (41) <令和7年4月> 学士(工学) ランドスケープデザイン	兼任	講師	島田 隆 (41) <令和7年4月> 学士(工学) ランドスケープデザイン
兼任	講師	神藤 ともみ (51) <令和6年4月> 短期大学卒 基礎英語セミナー	兼任	講師	神藤 ともみ (51) <令和6年4月> 短期大学卒 基礎英語セミナー
兼任	講師	関口 哲夫 (50) <令和6年4月> 博士(歴史学) 歴史学A 歴史学B	兼任	講師	関口 哲夫 (50) <令和6年4月> 博士(歴史学) 歴史学A 歴史学B
兼任	講師	高木 信治 (56) <令和8年4月> 修士(工学) 鋼構造工学	兼任	講師	高木 信治 (56) <令和8年4月> 修士(工学) 鋼構造工学
兼任	講師	田島 一成 (59) <令和7年4月> 修士(教育学) 地球科学A 地球科学B	兼任	講師	田島 一成 (59) <令和7年4月> 修士(教育学) 地球科学A 地球科学B
兼任	講師	嵐 豪希 (30) <令和7年4月> 修士(情報学) 認知科学A	兼任	講師	嵐 豪希 (30) <令和7年4月> 修士(情報学) 認知科学A
兼任	講師	出廣 浩明 (56) <令和6年4月> 工学士 建築・インテリア図法実習1 建築・インテリア図法実習2	兼任	講師	出廣 浩明 (56) <令和6年4月> 工学士 建築・インテリア図法実習1 建築・インテリア図法実習2
兼任	講師	寺谷 直輝 (52) <令和7年4月> 修士(人間発達学) 教育心理学	兼任	講師	寺谷 直輝 (52) <令和7年4月> 修士(人間発達学) 教育心理学
兼任	講師	鳥飼 佳則 (66) <令和8年4月> 専門学校卒 インテリアエレメント演習2	兼任	講師	鳥飼 佳則 (66) <令和8年4月> 専門学校卒 インテリアエレメント演習2
兼任	講師	中根 敬雄 (63) <令和8年9月> 工学士 技術者倫理	兼任	講師	中根 敬雄 (63) <令和8年9月> 工学士 技術者倫理
兼任	講師	中野 克己 (60) <令和8年4月> 高等専門学校卒 G1S基礎 G1S演習	兼任	講師	中野 克己 (60) <令和8年4月> 高等専門学校卒 G1S基礎 G1S演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	中山 佳子 (53) <令和7年9月> 修士(学術)	兼任	講師	中山 佳子 (53) <令和7年9月> 修士(学術)
		英語ライティング 英語ライティング 英語プレゼンテーション			<b>英語スキル1</b> <b>英語スキル2</b> 英語ライティング 英語ライティング 英語プレゼンテーション
兼任	講師	野田 悠宏 (44) <令和6年4月> 修士(工学)	兼任	講師	野田 悠宏 (44) <令和6年4月> 修士(工学)
		情報処理1 かおりデザイン演習1			情報処理1 かおりデザイン演習1
兼任	講師	岡竹 悠志 (56) <令和7年9月> 農学士	兼任	講師	岡竹 悠志 (56) <令和7年9月> 農学士
		ランドスケープ設計			ランドスケープ設計
兼任	講師	橋本 雅好 (53) <令和8年4月> 博士(工学)	兼任	講師	橋本 雅好 (53) <令和8年4月> 博士(工学)
		環境心理学			環境心理学
兼任	講師	長谷 博子 (54) <令和7年9月> 博士(人間生活科学)	兼任	講師	長谷 博子 (54) <令和7年9月> 博士(人間生活科学)
		かおりデザイン演習5 かおり成分と調香4 アロマテラピー演習			かおりデザイン演習5 かおり成分と調香4 アロマテラピー演習
兼任	講師	長谷川 明子 (59) <令和7年4月> 博士(工学)	兼任	講師	長谷川 明子 (59) <令和7年4月> 博士(工学)
		環境生態学実習 ビオトープ設計			環境生態学実習 ビオトープ設計
兼任	講師	服部 直也 (38) <令和8年4月> 学士(工学)	兼任	講師	服部 直也 (38) <令和8年4月> 学士(工学)
		維持管理工学			維持管理工学
兼任	講師	林 幸磨代 (60) <令和7年4月> 教育学修士	兼任	講師	林 幸磨代 (60) <令和7年4月> 教育学修士
		色彩論			<b>演義色彩論</b> 色彩論
兼任	講師	原 英光 (51) <令和6年4月> 学士(工学)	兼任	講師	原 英光 (51) <令和6年4月> 学士(工学)
		建築・インテリア図法実習1			建築・インテリア図法実習1
兼任	講師	伴 政憲 (56) <令和6年9月> 工学士	兼任	講師	伴 政憲 (56) <令和6年9月> 工学士
		建築・インテリア図法実習2			建築・インテリア図法実習2
兼任	講師	橋本 和成 (43) <令和6年4月> 修士(心理学)	兼任	講師	橋本 和成 (43) <令和6年4月> 修士(心理学)
		心理学A 心理学B			心理学A 心理学B
兼任	講師	藤森 幹人 (62) <令和9年4月> 工学士	兼任	講師	藤森 幹人 (62) <令和9年4月> 工学士
		都市計画			都市計画
兼任	講師	細田 宏 (66) <令和8年9月> 理学士	兼任	講師	細田 宏 (66) <令和8年9月> 理学士
		地盤設計技術			地盤設計技術
兼任	教授	堀内 将人 (67) <令和6年4月> 博士(工学)	兼任	講師	堀内 将人 (67) <令和6年4月> 博士(工学)
		環境工学基礎 都市衛生工学 かおり成分と調香1 資源循環工学			<b>都市空間インフラ入門セミナー</b> 環境工学基礎 <b>都市環境プロジェクト実習</b> 都市衛生工学 かおり成分と調香1 資源循環工学
兼任	講師	松林 理太 (57) <令和7年9月> 修士(情報学)	兼任	講師	松林 理太 (57) <令和7年9月> 修士(情報学)
		認知科学B			認知科学B
兼任	講師	松本 貴裕 (43) <令和8年9月> 学士(工学)	兼任	講師	松本 貴裕 (43) <令和8年9月> 学士(工学)
		構造設計演習			構造設計演習
兼任	講師	真野 由紀子 (61) <令和6年9月> 美術修士	兼任	講師	真野 由紀子 (61) <令和6年9月> 美術修士
		建築デザイン基礎実習 インテリアデザイン基礎実習			建築デザイン基礎実習 インテリアデザイン基礎実習
兼任	講師	丸地 博 (51) <令和6年4月> 修士(工学)	兼任	講師	丸地 博 (51) <令和6年4月> 修士(工学)
		建築・インテリア図法実習1 建築・インテリア図法実習2			建築・インテリア図法実習1 建築・インテリア図法実習2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	水野 啓示朗 (58) <令和7年9月> 博士(工学)	兼任	講師	水野 啓示朗 (58) <令和7年9月> 博士(工学)
		骨組の解析法 振動と塑性解析			<b>建築基礎教理 1</b> <b>構造力学 1</b> 骨組の解析法 振動と塑性解析
兼任	講師	村瀬 正彦 (50) <令和7年4月> 修士(工学)	兼任	講師	村瀬 正彦 (50) <令和7年4月> 修士(工学)
		CAD演習1 CAD演習2			CAD演習1 CAD演習2
兼任	講師	森 正樹 (52) <令和8年9月> 修士(工学)	兼任	講師	森 正樹 (52) <令和8年9月> 修士(工学)
		輸送システム			輸送システム
兼任	講師	諸井 進人 (60) <令和8年4月> 工学士	兼任	講師	諸井 進人 (60) <令和8年4月> 工学士
		におい・かおり測定演習2			におい・かおり測定演習2
兼任	講師	矢田 全孝 (56) <令和6年4月> 学士(工学)	兼任	講師	矢田 全孝 (56) <令和6年4月> 学士(工学)
		建築の仕組み 建築構法			建築の仕組み 建築構法
兼任	講師	山口 貴徳 (52) <令和8年4月> 修士(法学)	兼任	講師	山口 貴徳 (52) <令和8年4月> 修士(法学)
		まちづくり関係法規			まちづくり関係法規
兼任	講師	山口 一 (69) <令和6年9月> 理学博士	兼任	講師	山口 一 (69) <令和6年9月> 理学博士
		生活環境学2 生活環境評価演習3 キャリア開発4 プロジェクト演習3 プロジェクト演習4 プロジェクト演習5			生活環境学2 生活環境評価演習3 キャリア開発4 プロジェクト演習3 プロジェクト演習4 プロジェクト演習5
兼任	講師	山元 諒 (65) <令和7年4月> 工学士	兼任	講師	山元 諒 (65) <令和7年4月> 工学士
		建設マネジメント 建設技術			建設マネジメント 建設技術
兼任	講師	横山 悦生 (69) <令和8年4月> 教育学修士	兼任	講師	横山 悦生 (69) <令和8年4月> 教育学修士
		工学概論			工学概論
兼任	講師	吉川 由美 (59) <令和6年9月> 学士(福祉経営学)	兼任	講師	<b>吉川 由美</b> <b>(59)</b> <b>&lt;令和6年9月&gt;</b> <b>学士(福祉経営学)</b>
		キャリア開発1			<b>キャリア開発4</b>
			兼任	講師	<b>諸井 幹</b> <b>(63)</b> <b>&lt;令和6年9月&gt;</b> <b>学士(工学)</b>
					<b>キャリア開発1</b>
兼任	講師	田村 一孝 (32) <令和7年4月> 修士(環境学)	兼任	講師	田村 一孝 (32) <令和7年4月> 修士(環境学)
		生物学A 生物学B			生物学A 生物学B
			兼任	講師	<b>鈴木 隆雄</b> <b>(32)</b> <b>&lt;令和6年4月&gt;</b> <b>修士(教育学)</b>
					<b>教育原理</b>
			兼任	講師	<b>鈴木 量</b> <b>(67)</b> <b>&lt;令和6年9月&gt;</b> <b>学士(工学)</b>
					<b>職業指導2</b>
			兼任	講師	<b>久田 晴志</b> <b>(66)</b> <b>&lt;令和6年9月&gt;</b> <b>学士(社会学)</b>
					<b>教育社会学</b>
			兼任	講師	<b>立木 伸人</b> <b>(46)</b> <b>&lt;令和6年4月&gt;</b> <b>修士(数理学)</b>
					<b>線形代数1</b> <b>線形代数2</b>
			兼任	講師	<b>西田 雅希</b> <b>(43)</b> <b>&lt;令和6年9月&gt;</b> <b>修士(美術史学)</b>
					<b>芸術概論</b>
			兼任	講師	<b>後藤 俊博</b> <b>(69)</b> <b>&lt;令和6年4月&gt;</b> <b>工学士</b>
					<b>力学1</b> <b>力学2</b>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	高木 夏 (40) <令和9年4月> 博士(造学) 化学基礎1 化学基礎2
			兼任	講師	斎藤 克典 (46) <令和9年4月> 博士(薬理学) 薬学基礎
			兼任	講師	山下 忍 (57) <令和9年4月> 理学士 基礎数学セミナー
			兼任	講師	河井 典之 (55) <令和9年4月> 修士(造学) 基礎数学セミナー
			兼任	講師	奥田 智也 (57) <令和9年4月> 理学博士 力学1
			兼任	講師	中井 晋太 (25) <令和9年4月> 修士(造学) 解析学1 解析学2
			兼任	講師	松尾 秀敏 (58) <令和9年9月> 博士(工学) 顕微鏡光学中級班
			兼任	講師	藤波 博 (57) <令和9年4月> 修士(薬理学) 解析学1
			兼任	講師	佐々木 和彦 (57) <令和9年4月> 学士(工学) 建築の仕組み 建築構造
			兼任	講師	樋月 大地 (34) <令和9年4月> 修士(造学工学) 造形基礎実習
			兼任	講師	渡辺 一幸 (53) <令和9年4月> 修士(造学) 造形基礎実習
			兼任	講師	山本 正平 (55) <令和9年4月> 博士(心理学) 心理学A 心理学B
			兼任	講師	岡 コウ (32) <令和9年4月> 修士(文学) 英語スキル1 英語スキル2
			兼任	講師	川名 真弓 (66) <令和9年4月> 文学修士 英語スキル1 英語スキル2
			兼任	講師	キンパオ ニック (34) <令和9年4月> 修士(体育学) 英語スキル1 英語スキル2
			兼任	講師	山本 茂典 (56) <令和9年4月> 修士(文学) 英語スキル1
			兼任	講師	藤江 弘子 (55) <令和9年4月> 修士(文学) 英語スキル1
			兼任	講師	家 三雄 (54) <令和9年4月> 修士(文学) 英語スキル1 基礎英語セミナー
			兼任	講師	瀬川 正典 (57) <令和9年4月> 修士(体育学) スポーツ実技A スポーツ実技B
			兼任	講師	富田 隆典 (53) <令和9年4月> 高等学校卒 スポーツ実技A スポーツ実技B
			兼任	講師	百川 太郎 (26) <令和9年4月> 修士(スポーツ科学) スポーツ実技A スポーツ実技B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	長久保 麗太郎 (52) <令和6年4月> 修士(コーチング学) スポーツ実技A スポーツ実技B
			兼任	講師	斎藤 純平 (50) <令和6年4月> 博士(スポーツ科学) スポーツ実技A スポーツ実技B
			兼任	講師	蓮内 裕孝 (24) <令和6年4月> 修士(スポーツ科学) スポーツ実技B
			兼任	講師	河村 正嗣 (56) <令和6年4月> 学士(体育学) スポーツ実技B
			兼任	講師	片岡 研人 (26) <令和6年4月> 修士(スポーツ科学) スポーツ実技B
			兼任	講師	石橋 康正 (39) <令和6年4月> 修士(社会学) 社会学A 社会学B
			兼任	講師	長谷川 昌之 (54) <令和6年4月> 修士(工学) 基礎理科セミナー
			兼任	講師	長谷川 恭司 (59) <令和6年4月> 修士(工学) 基礎理科セミナー

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和6年度】

<p>■教員人事に関連し、職名の変更。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>宮寄靖大准教授（専任）を採用</li><li>高柳伸一准教授（専任）、藤森繁准教授（専任）、岡康之准教授（兼任）、小屋菜穂子准教授（兼任）、松木孝文准教授（兼任）が教授に昇任</li><li>堀内将人教授（兼任）が契約期間満了後、講師（兼任）として採用</li><li>大東憲二教授（兼任）が自己都合退職後、講師（兼任）として採用</li></ul> <p>■教員人事に関連し、担当科目の変更。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>渡邊慎一教授（学長）（専任）の後任として森長誠講師（専任）が採用されたことに伴い、渡邊慎一教授（学長）（専任）は学長職に専念により就任辞退。</li><li>棚村霽三准教授（専任）、加藤聡一教授（兼任）、田中清喜講師（兼任）が自己都合退職により就任辞退の後任として、近藤恵美教授（専任）、川澄誠准教授（兼任）、長谷川翔一講師（兼任）、鈴木繁聡講師（兼任）、蜂須賀豊講師（兼任）、久田晴生講師（兼任）、立木寿人講師（兼任）を採用。</li></ul> <p>■開講クラス数の変更及び時間割編成の都合により、以下のとおり担当科目を変更。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>宇野亨教授（専任）、武藤隆教授（専任）、米澤隆准教授（専任）に「建築・インテリア図法実習2」を追加。</li><li>高柳伸一教授（専任）から「芸術概論」を削除。武藤隆教授（専任）、西田雅希講師（兼任）に「芸術概論」を追加。</li><li>岡本洋輔准教授（専任）から「環境色彩論」を削除。林羊園代講師（兼任）に「環境色彩論」を追加。</li><li>木全博聖講師（専任）から「構造工学1」、「構造工学2」を削除。宮寄靖大准教授（専任）に「構造工学1」、「構造工学2」を追加。</li><li>今井健二教授（兼任）に「情報リテラシー概論」、「データサイエンス概論」を追加。</li><li>齋田浩見教授（兼任）から「力学2」を削除。後藤俊幸講師（兼任）に「力学2」を追加。</li><li>高山努教授（兼任）から「化学基礎1」、「化学基礎2」を削除。西本寛講師（兼任）に「化学基礎1」、「化学基礎2」を追加。</li><li>高山努教授（兼任）、小木曾了講師（兼任）に「化学1」、「化学2」を追加。</li><li>高山努教授（兼任）、田中宏昌教授（兼任）、原科浩教授（兼任）、平林健治教授（兼任）、柳原克行教授（兼任）、山田雄太教授（兼任）、岡康之教授（兼任）、松木孝文教授（兼任）、日高直保講師（兼任）に「ファースト・イヤー・セミナー」を追加。</li><li>成田淳一郎教授（兼任）から「数学基礎」を削除。岡康之教授（兼任）、齋藤克典講師（兼任）に「数学基礎」を追加。</li><li>成田淳一郎教授（兼任）、二村俊英教授（兼任）から「基礎数学セミナー」を削除。伊藤裕貴講師（兼任）、山下忍講師（兼任）、河井典之講師（兼任）に「基礎数学セミナー」を追加。</li><li>原科浩教授（兼任）、後藤俊幸講師（兼任）、長田哲也講師（兼任）に「力学1」を追加。</li><li>原科浩教授（兼任）に「基礎物理A」を追加。</li><li>二村俊英教授（兼任）から「解析学2」を削除。伊藤裕貴講師（兼任）、中井啓太講師（兼任）に「解析学2」を追加。</li><li>岡康之教授（兼任）から「線形代数1」を削除。立木寿人講師（兼任）に「線形代数1」を追加。</li><li>松木孝文教授（兼任）から「課題探究集中講座」を削除。松尾秀哉講師（兼任）に「課題探究集中講座」を追加。</li><li>岡康之教授（兼任）から「解析学1」を削除。伊藤裕貴講師（兼任）、難波博講師（兼任）、中井啓太講師（兼任）に「解析学1」を追加。</li><li>浦邊綾子講師（兼任）から「心理学概論」を削除。光田恵教授（専任）に「心理学概論」を追加。</li><li>遠藤智史講師（兼任）から「プロジェクト演習1」を削除。</li><li>大嶋芳康講師（兼任）から「基礎英語セミナー」を削除。</li><li>近藤早紀講師（兼任）から「かおりデザイン演習3」、「生活環境評価演習1」、「生活環境評価演習2」、「生活環境評価演習3」、「嗅覚測定法」を削除。</li><li>堀内将人講師（兼任）に「都市空間インフラ入門セミナー」を追加。</li><li>樋口恵一准教授（専任）から「都市環境プロジェクト実習」を削除。堀内将人講師（兼任）に「都市環境プロジェクト実習」を追加。</li><li>水野啓示朗講師（兼任）に「建築基礎数理1」「構造力学1」を追加。</li><li>吉川由美講師（兼任）から「キャリア開発1」を削除。櫻井淳講師（兼任）に「キャリア開発1」を追加。</li><li>佐々木和彦講師（兼任）に「建築の仕組み」「建築構法」を追加。</li><li>望月大地講師（兼任）、渡辺一生講師（兼任）に「造形基礎実習」を追加。</li><li>日高直保講師（兼任）、山本正平講師（兼任）に「心理学A」「心理学B」を追加。</li><li>松井かおり教授（兼任）、中山佳子講師（兼任）、劉コウ講師（兼任）、川名真弓講師（兼任）、ヤンバオニック講師（兼任）に「英語スキル1」、「英語スキル2」を追加。</li><li>山本茂美講師（兼任）、蟹江弘子講師（兼任）、萩三恵講師（兼任）に「英語スキル1」を追加。</li><li>萩三恵講師（兼任）に「基礎英語セミナー」を追加。</li><li>細川正義講師（兼任）、富田佳美講師（兼任）、西川太智講師（兼任）、長久保健太郎講師（兼任）、刑部純平講師（兼任）に「スポーツ実技A」、「スポーツ実技B」を追加。</li><li>塩内裕与講師（兼任）、河村正則講師（兼任）、片岡研人講師（兼任）に「スポーツ実技B」を追加。</li><li>石橋博正講師（兼任）に「社会学A」「社会学B」を追加。</li></ul>
--

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、**原則としてAC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- ・ なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
17	9
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。  
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
10	9	1	0	20	0	12	6	2	0	20	0
(10)	(8)	(1)	(0)	(19)	(0)						
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
12	6	2	0	20	0	12	6	2	0	20	0
[2]	[△3]	[1]	[0]	[0]	[0]	[2]	[△3]	[1]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。  
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、既に設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、 [ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)  
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{20}{20} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{20} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
								選択	必修
1	教授 (学長)	渡邊 慎一	R6.4		建築・インテリア入門 세미나	①	R6.4に後任者が採用されたため、学長職に専念することとした。(6)		
				選択	建築概論※	①			
				選択	建築設計1	①			
				選択	環境工学2	①			
				選択	環境工学3	①			
				選択	環境評価演習	①			
				選択	セミナー1	①			
				必修	卒業研究	①			
2	准教授	棚村 壽三	R6.4		かおりデザイン入門セミナー	①	R6.3に退職したため自己都合退職したため就任辞退(6)		
				選択	嗅覚測定法	①			
				選択	におい・かおり測定演習1	②			
				選択	におい・かおり測定演習2	②			
				選択	におい・かおり測定演習3	①			
				選択	プロジェクト演習3	①			
				選択	プロジェクト演習4	①			
				選択	プロジェクト演習5	①			
				選択	かおりデザイン演習4	①			
				選択	インターンシップ(学外研修)	①			
				選択	セミナー1	①			
				選択	セミナー2	①			
				必修	卒業研究	①			
合計(D)					後任補充状況の集計(E)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
2	人	必修	2 科目	必修	2 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	20 科目	選択	18 科目	選択	2 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	22 科目	計	20 科目	計	2 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
								選択	必修
		該当なし							
合計(F)					後任補充状況の集計(G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計(D)+(F)					後任補充状況の集計(E)+(G)				
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
2	人	必修	2 科目	必修	2 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	20 科目	選択	18 科目	選択	2 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	22 科目	計	20 科目	計	2 科目	計	0 科目

(3) 一④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{2}{19} = 10.52 \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

2 人

(注) ・ (3) 一①、(3) 一②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。  
 ・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

後任については、全ての科目で補充が完了しており、なおかつ9割以上の科目を専任教員で補充しているため、学生の履修等への影響は少ないと認識しています。非開講となる科目はないため、学生へは履修登録時に周知しています。今後も専任教員辞任等が発生した場合は、必ず科目担当者を補充するとともに、できるかぎり専任教員で補充をする方針です。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届 出 時  (令和6年)	・工学部建築学科の収容定員超過の是正に努めること。  【届出】 遵守事項	工学部建築学科は、2024年度から募集を停止し、建築学部建築学科を届出設置した。建築学部建築学科の募集においては、合格者の決定を慎重に行うなどの努力を行い、次の通り収容定員超過率は抑えられている。  収容定員超過率 2023年度 工学部建築学科 1.17 2024年度 建築学部建築学科1.02 (6)	履行済

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

**【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】**

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

**【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】**

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5) (6)」と記載してください。

**【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】**

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <建築学部 建築学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

##### ① 実施体制

###### a 委員会の設置状況

2018/4/1より教育開発・学習支援委員会を設置している。

###### b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

教育開発・学習支援委員会は年5回(4月、6月、8月、10月、2月)開催している。

(委員: 授業開発センター長、授業開発センター副センター長(3名)、センター所員(8名)、教務部次長、教務室長、委員長の必要と認める委員(1名))

###### c 委員会の審議事項等

- (1) 授業改善のための授業研究活動等に関する事
- (2) 「学生による授業評価」の実施とその活用に関する事
- (3) 高校までの学習範囲に係る「数学」、「理科(物理及び化学)」、「外国語(英語)」等の学習支援及び同教科と関連する正規授業の授業担当教員との連携等に関する事
- (4) 入学前教育に関する事
- (5) 学習全般に係る学生からの相談(正規授業の内容に関するものを除く。)に関する事
- (6) 教育の改善・改革に係る企画・立案に関する事
- (7) その他教育開発及び学習支援に関する事

##### ② 実施状況

###### a 実施内容

- (1-1) 教員相互の授業参観及び授業内容・方法に関する研究会
- (1-2) ミドルレベルでの授業改善に関わる検討会
- (2) 授業評価アンケート
- (3) 授業改善助成
- (4) FD講演会
- (5) 新任教員の授業運営に関する研修会・懇談会の実施
- (6) 本学におけるFD活動の状況、成果等の広報

## b 実施方法

- (1-1) (1-2) 学科等でローテーションを設定して開催している。
- (2) 全授業科目を対象に授業評価アンケートを毎期実施している。
- (3) 教員の授業改善の取組に対して経費面から支援している。
- (4) 教育や授業に共通する課題を設定し、課題解決方法や取組を教員間で共有している。
- (5) 新任教員に対して、教務部と教育開発・学習支援センターが連携して研修を行っている。
- (6) 研究授業の報告などを掲載した『授業批評』を冊子として刊行するとともに、「センター活動年報」をHPで公開している。

## c 開催状況（教員の参加状況含む）

- (1-1) (1-2) 2001年の授業開発センター発足以来、継続して実施している。毎回の参加者は10名程度。  
2022年度は14回開催した。
- (2) 2001年の授業開発センター発足以来、継続して実施している。
- (3) 2017年度に授業改善助成制度を見直して以降、毎期10名程度の教員より応募がある。  
2023年度は14名の教員より応募があった。
- (4) 毎年3月にFD講演会を開催し、2020年度からは遠隔で実施することでリアルタイムで参加できない教員も後日視聴ができるよう対応している。
- (5) 毎年4月上旬、5月下旬の2回に分けて実施し、新任教員は全員参加している。  
2021年度までは年4回発行していたが、紙媒体での発行回数を減少し2023年度は2回の発行とした。
- (6) あわせて、2022年度より「センター活動年報」をHPで公開している。

## d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- (1-1) (1-2) 教員相互の教育力向上の研修として機能している。
- (2) アンケート結果を教員個人、学科・教室、授業開発センターの3者で個別に分析を行い、情報を共有し授業改善に取り組んでいる。
- (3) 2017年度に授業改善助成制度を見直して以降、毎期10名程度の教員より応募がある。
- (4) 毎年3月にFD講演会を開催し、2020年度からは遠隔で実施することでリアルタイムで参加できない教員も後日視聴ができるよう対応している。
- (5) 新任教員にとって授業運営の指針となっている。
- (6) 本学におけるFD活動を集約・広報する上で意義のあるものであり、引き続き発行する。

## ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

### a 実施の有無及び実施時期

原則全授業科目に対して、毎期末に実施している。

### b 教員や学生への公開状況、方法等

授業評価アンケート実施科目について、授業担当教員による考察を含めた集計結果をWebで公開している。

(注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

### (4) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

「建築学」は構造や材料等の工学的要素はもちろんの事、建築史やデザイン史等の文系的要素、美しさやデザイン等の芸術系要素を兼ね備えた総合的な学問である。さらに現代的な要素として、環境共生や地域再生、防災復興や修景保存等も加わりつつあるこの分野は、ますます工学だけではカバーしきれない幅広い学問領域になっており、それらに柔軟に対応する教育環境の整備が必要であると考えます。

そこで、建築学部建築学科の設置にあたり、4つのコース(建築コース、インテリアデザインコース、かおりデザインコース、土木・環境コース)からなる工学部建築学科を母体として、現代社会を取り巻く様々な問題に対応できる人材を育成できる教育環境を構築することで、時代と社会の要請に応じていくことを目標として掲げた。

この目標を達成すべく、2024年度(開設年度)までに教育体制・環境を整備した。概ね計画どおりに履行しているものと総括する。

##### 1 入学者選抜

2024年度(開設年度)の入学者選抜において、建築学部建築学科全体で見た時には、若干定員を上回る結果となった。コースごとの定員充足率を比較してみると、建築コース：97.3%、インテリアデザインコース：120.0%、かおりデザインコース108.0%、都市空間インフラコース96.4%と、専攻により定員充足状況にばらつきがあることがわかる。安定的に入学者数を確保するためにも、コースごとの状況を引き続き注視していく必要がある。

##### 2 教育課程及び教育方法

建築学部建築学科の教育課程及び教育方法は、計画どおり履行している。なお、教育課程の全学的な見直しとして、授業科目の名称の適切化等を2024年度に実施した。

##### 3 教員組織

建築学部建築学科の専任教員は、計画どおり就任し、教育研究に従事している。

##### 4 施設・設備の整備

建築学部建築学科の施設・設備については、本学が標榜する教育重視型大学として、開設以前において十分な整備がされていたため、原則として既設の施設・設備で対応している。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表(予定)時期

・令和7年7月中旬公表予定

##### b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

#### ③ 認証評価を受ける計画

・令和9年に評価機関(公益財団法人日本高等教育評価機構)の評価を受けるべく、学内で検討中

- (注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

## (5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [ 有 ]

《 a で「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [ 調査結果公表後1ヶ月以内 ]

c 公表方法 [ ウェブサイトへの掲載 ]

《 a で公表「無」の場合》

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、  
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。